

# エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取組～

平成20年4月16日

環境大臣 鳴下 一郎 殿

株式会社ビックカメラ  
代表取締役社長

高嶋 宏幸

株式会社ビックカメラは、多数の特定家庭用機器等の販売と引取りを行う企業としての社会的責任を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、環境配慮を通じ積極的に社会貢献するため、以下の取組を進めてまいります。

## 1.家電リサイクルを適正かつ積極的に推進します。

- 家電リサイクル法に基づき、特定家庭用機器廃棄物の引取り・引渡しを適正に行うとともに、家電リサイクル券を適正に交付・管理します。
- お客様に家電リサイクルの仕組みと環境改善、資源有効利用上の効果を積極的に情報提供することにより、家電リサイクルの積極的な推進に一層努力します。

## 2.循環型社会の形成に向けた取組を積極的に推進します。

- 本年4月からカラー印刷の紙製買物袋を原則としてリサイクルが容易な無漂白の薄肉再生紙に転換することにより今年度中に既存店ベースで28トン(削減率5%)の紙資源を節約します。また、プラスチック製のレジ袋についてもお客様に要否の確認を行い使用量の削減を図るとともに、薄肉化を推進し、今年度中に同じく既存店ベースで29トン(削減率20%)の削減を達成します。
- 配送事業者と連携し、配送時の梱包材の積極的な回収と分別を徹底し、ごみゼロを目標とした再資源化を進めるとともに、発泡スチロールの溶解処理など、先進的なリサイクルスキームを導入します。(2008年度再資源化目標：段ボール480トン(再資源化率85%)、発泡スチロール324トン(うち96トンは溶解処理)(再資源化率85%))
- 希少金属の回収と不正使用の防止のため、主要通信事業者と連携し、今夏を目途に弊社の全店舗において使用済携帯電話端末の回収を開始します。
- 子会社と連携し、パーソナルコンピューター等のリユースを一層促進します。

## 3.地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進します。

- 遅れている家庭部門のCO<sub>2</sub>削減を進めるため、全国のトップを切って協賛した1人1日1kgCO<sub>2</sub>削減チャレンジ宣言の促進や、2004年度から3年連続大臣賞を受賞した実績をもとにした省エネ家電の普及促進を積極的に進めます。
- 業界初の駅ホームから直接入店できるJR京都駅店を始め、今後とも駅前、駅中立地など、公共交通機関の利用が便利な場所への出店及びLEDの採用による省エネ型の外壁照明を進めることにより、環境配慮型の店舗づくりを進めます。
- 空調温度設定の省エネ化、展示用製品の通電の削減など、お客様の理解を得ながら店舗での省エネを進めます。
- 上記の取組等により、業界で初めて企業単位で設定したCO<sub>2</sub>削減目標(店舗面積当たりのCO<sub>2</sub>排出原単位を2010年までに2006年比で4%削減)を達成します。

株式会社ビックカメラは、上記取組の推進状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及び環境報告書による公表を行ってまいります。